京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●歐州輸出の大豆

昨年來滿洲大豆の需用は世界的となり將來如何に多額の供給あるも決して品の過剩をなす時の事なかるべき趨勢となりしを以て滿洲農民は從來の罌粟畑野菜畑並に山林を開墾して大豆の作付をなしたるを以て其反別は平年より三割以上增加したるの模樣なるが其後吉林省其他に多少の水害ありたるも農作上に多大の損害を及ぼしたる事なければ昨年の大豆產額は略七百万石なりしに對し本年は其三割の增加と見て九百萬石の產額に上るならん從つて兩三年を出でずして一千萬石の產額を見る事は容易なるべし尙は從來滿洲の大豆は產額三百萬石と稱せられたるものなるが本年は其三倍となる勘定なりと云昨年の產額は約七百萬石即ち噸數に於て百四十萬噸位なりしが其內歐洲へ輸出したるは浦鹽大連の兩港を合し去月迄に於て四十二萬噸なりしを以て本年新豆の出廻る迄には五十萬噸に達すべし又南滿日本の兩方面へは大豆又は豆粕となりて例年六十萬噸位なるもの本年は一層增加して七八十萬噸の輸出に達したれば殘額持越は十萬噸內外なるべし而して本年の大豆產額が豫想の如く九百萬石即ち百八十万噸に達せば日本並に南清へ八十萬噸を輸出すると假定し其殘額百万噸を歐米へ輸出せざるべからざるが右は本年の輸出の約二倍に過ぎざれば目下の狀態にては尙不足を感ずるに至るやも知るべからずと

●缺逋金の整理額

度支部は未勘金整理に關する法律に基き缺逋金の整理中なるが今八月十三日の調査に係る六月末現在の整理額左の如し

監督局名	調定額	納入額
本部	八三、四七五	八、九五六
漢城	二四九、六五一	八、一一六
大邱	四、四七八	三、〇七八
平壤	五九五、三六三	六、二八四
全州	一、五三四	五二四
公州	二二、六六五	三、〇九八
元山	五二、一一〇	二、一七八
計	一、〇〇八、二七八	三三、二三六

●咸北地方の蟲害

其筋への報告に係る咸鏡北道の蟲害狀況を聞くに目下は土中數寸の處に潜み葉根を食しつゝあるを以て明年度の豫防に腐心し居れりといふ

俳句

●第五回六句集　すみれ會

▲夏の月　むら判

結(夕鈴志榮我留類萬間野船安所比)

奧庭の安樂椅子やなつのつき　霞城
色町の夕にぎはしなつのつき　秋花
なつの月安樂椅子に鼾かな　月哉
奧深く見ゆる木の間や夏の月　淡水
いつの間に山を離れて夏の月　同
海原や一望萬里なつのつき　中庸
時聞いて留める話やなつの月　かつら
用なきに渡船に乘るや夏の月　中庸
小諸は留守の翁かなつのつき　月哉

◉秀　逸

宿かりて留守預りぬなつの月　淡水
門附けと乘合ふ船やなつの月　月哉

◉自　句

船によし野によし夏の月涼し　むら

▲川狩(結字同前)

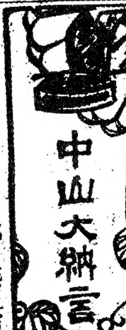
川狩やバケツ持つ子の帶に鈴　天心
川狩や子我に掛ける守りふだ　月哉
川狩や所構はずすくふざる　秋花
川狩や歸りは野邊にばつた狩　同
川狩や命取り留む灸のあと　かつら

◉秀　逸

川狩や我が手にあまる大鰻　蘭

◉自　句

川狩やさかしに見たる我翠丸　むら



第四十三席　桃川燕玉演

式『默れ、此方で貴樣に取調べる事がある神妙に其れへ直つて尋ねる事を一々答を致せ　男『何だと、途方もねい事をほざきやアがる無禮猥雜此上もない亂暴をして居つて、尋ねる事を返事をしろ……不屆至極の汝ア一体何者だ、苟にも士に向つて不屆至極な曲者、速に退散致さば宜し、長居をすれば斯うして與れる』と一つは腹立紛れ二つには嚇す爲か、短刀を閃めかし打つて蒐るを搔潜り、利腕取つて捻返し『何をしやアがる』と言はせも敢ず肩に擔いでドーンと其處に投げ飛ばし、矢庭に馬乘りにズイと乘り掛つた、式部と云ふ人は力も優れて居るが柔術は無雙の達人　男『アイタヽヽ、飛んでもねい亂暴な奴、ヤイ宿の主はどうした、己の座敷へ飛んだ亂暴人が飛び込んだ、宿の主は居ないか、早く來て與れろ』と例の若い奴は金切聲を揚げて居る。今迄泣いて居りました女も不意を喰つたので膽を潰し急に淚も止つてしまひ、どうなる事かとおど〳〵致して居る　式『アイヤあなたは京都の中立賣通り上る町の、貴島閑齋先生の御息女初江殿であらつしやるか　初『ハイよく御存知でございまする、成程私は仰有る通り閑齋の娘初江でございますが、あなたは何誰でいらつしやいましたか　式『イヤ仔細あつて御身の事は手前がよく存じて居る、やれ〳〵あなたの心得違ひとは言ひながら嘸御辛苦をなすつたであらう、是からは拙者が決してあなたに御難儀は御させ申さぬから、委細を此處で御話しなさい、御爲になるやう取計つて進ぜるから……　初『ハイ有難う存じます、妾の父を御存知でいらつしやるあなた樣、何國の御方かは存じませぬが、御尋ねに隨つて何事も申上げまする、御耻かしい事でございますが、父の閑齋の許へ都度々遊びに御出でになりました江戸の駿河臺に御出になる大番組の御旗本鹽川孝太郎と仰しやいまする方がございます、此處に居りますのは其家來で島田小一郎と申します人、面目次第もございませぬが、私が其孝太郎殿へ二三度艶書を上げました、其媒介をして與れましたのが此小一殿でございます、其後鹽川樣は江戸へ御歸りになりまして、私は只の一度宜い返事を伺ひませぬから、どうした事と案じ暮して居りまする所へ小一殿が來て、是は主人孝太郎殿の返事と、私へ與れましたのを見ますると、何分都に於てどう斯うと云ふ譯にもいかぬから、私は江戸へ歸つて相待つからお前が忍んで家を出て江戸へ尋ねて來い、さうすれば江戸で夫婦になれやう、閑齋老へは此方から話をする、兎に角江戸の駿河臺へ尋ねて來い、腹心の家來島田小一、萬事は此者が心得て居る、安心をして此者と同道をしろと斯う云ふ書面でございました、そこで不圖した心得違ひから都を脱出し、此御方と共に此迄參つたのでございます所が此小一殿が仰しやいまするには、實は今迄の事は嘘の塊り孝太郎殿は立派な奥さんもあり子供衆もある、縱られ前が彼此れ思つても迚も無駄だ、それより私の云ふ事を聽け、さうすれば江戸へ連れて行つて夫婦になる、それが否應言へば姦んだ上に宿場女郎に賣つてしまふ、何の彼のと言つていろ〳〵嚇されました、是も親を捨てゝ家出をした天の罰と、ふつ〳〵私も世の中が厭になりましたから、寧そ死んでしまはうかと考へて居りました所が、小一と云ふ人が貴樣を殺しては金の蔓を失ふやうなものだ、愈々言ふ事を聽かねければ仕方がないから宿場女郎に叩き賣る、金にするそれ迄は決して我儘に殺させはしないと、死ぬにも死なれずどうしたら宜からうかと案じて居りました、所へあなた樣が御出になりましたので……　式『ホヽウ左樣か、して見れば其あなたへ遣はした書面と云ふものは此奴が中で計らつた、イヤ年の若い時は得てさう云ふ心得違ひが有り勝ちだ、まア〳〵肌身を汚さんのが何よりの幸福、此後もある事だ心得違ひをさつしやらぬやう……コレ當家の主、當家の主人　主『ハイ御召しになりましたか　式『何だ亭主治平か　治『ハイ左樣でございます　式『其れに參つて居つた……　治『ヘイ、どうもわらい騷ぎでございますから、先刻參りまして、委細は御次で承りました、どうも飛んでもない話、全体私共に泊つた時から何だかいやな奴だと存じましたが、どうも太い奴でございます　式『繩を持つて參れ　治『持つて參りました　式『アヽさうか、然らば此方へ出せ、此奴取逃してはならぬから縛つてしまふ、コレ神妙にしろ　小『何だと、飛でもねい事を言ふな、縛られるやうな覺は……　式『默れ、わつてもなくても仔細ない、神妙に手を廻せ』と到頭島田小一と云ふ奴を高手小手に引括つた。

●割烹界の福音　味の素

「味の素」は調味料として和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺ぐべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上鰹節や、昆布の類に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く即座に忘れる事のできないうまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金五十錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店　歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　金銀細美術品　直輸入商　京城本町二丁目　同　三丁目　辻屋　本店　電話二四八番　支店　電話二六六番

廣告

京城旭町三丁目　日韓諸新聞　廣告取扱　京城廣告社

▲清潔の下宿▲
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡)　かめ屋
▲懇切の下宿▼

診察時間　自午前八時至午後七時　毎月一日十五日休業
本町二丁目　中村耳鼻咽喉眼科醫院
院主　從七位醫學得業士　中村健吉

マルシイド　新劑發賣　京城永樂町　藤原支店　電話八九番

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒　防臭　殺菌劑　クレシン
韓國內部衛生課御試驗濟
韓國各官衙　統監府各官衙　陸軍各官衙　御用品
販賣元　東京　合資會社　高田商會銀座販賣店
韓國特約店　京城本町　山岸天佑堂藥房　(電話二百七十二番)

齒科治療
女子見習生募集委細面談
本町六丁目　ドクトル　中村安子　(敎そば橫町)

新築落成
貸席御料理
京城和樂園　高田屋
電話九三七番

莨口金　埃及　EDP

○嗜莨家諸君○
ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ
(百本入金七十五錢以上)
直輸入商　京城本町二丁目　日希商會　電話二百廿二番

美術半衿帯上帯締其他組紐類各種
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新報

地球と火星の接近
官憲と民論の距離

本月十八日は地球と火星との距離が最も近接するの日也、地球が太陽の周圍を一回轉するには三百六十五日を要す、火星が太陽の周圍を一回轉するには六百八十七日を要すと云ふ、此兩者が各自一定の軌道を廻りて回轉する以上は兩者の距離が非常に遠近するは當然の理也、而して兩者が最も近接する場合には假りに地球と太陽との距離は平均一丈とすれば地球と火星との距離は三尺八寸九分五厘なりと云ふ、此距離を實際の哩數とすれば三千六百十八萬四千五百五十萬哩なりと、近接すると雖も亦遙遠なりと云ふべし。

米國新聞の報ずる所によれば一二の天文學者は此近接を利用して通信の合圖を試みんと目下計畫中なりと、若し是が成功するとせば前代未聞の快事にして天文學上に一新紀元を開くと共に地球に取りて大なる貢獻と云はざる可らず、天文學者の説によれば火星には驚く可き斑點ありて其容積は略ぼ愛蘭土に等し、是は電氣の光にあらざれば反射鏡の作用に依りて太陽の光線を反射せるものならむ、果して然りとすれば火星の人類は其開明の程度地球の人類以上なりと推測せらる云々と、畢竟是れ學理によりて推斷したるに過ぎざれども、學術の進歩は早晩之が實現を見る能はざるとも斷言し難からむ。

余輩は此地球と火星との接近によりて端なく韓國に於ける我官憲と民論との距離に想到して其遙遠なるを歎ぜざるを得ず、新統監の世となるや、新聞に對しては一視同仁主義を採る、或は民論を容るゝに吝ならずとか種々の説は傳へられたり、世人は之を幾分新統監の新福音として多少の望を屬したりき、然に事實は之に反對の傾向を以て回轉し接近せざるのみならず、益々隔離の度を遠くするの觀なからず、世人は地球と火星との接近程度が三千六百余萬哩なりと聞きて尚遙遠の大なるに驚歎す、而して接近すべき筈の新統監と民論との距離が火星の夫れよりも遙遠なるを思ふては更に驚歎せざるを得ざる也、地球は火星に合圖して其返信を求めんとす、素より一の空想に過ぎざるも未だ必ずしも絶望とは斷定す可らず、幾分の希望は天文學者の胸中に宿る、而も韓國に於ける我官憲と民論との距離遙遠にして民聲の合圖は官憲に何の反響も與へずと云ふに至ては、火星通信の空想は尚以て聊か賴母しとするに足らんか、希望は光明也、希望にして斷絶せば唯失望あるのみ、民を失望せしむるの政治には眞の生命なし、古の賢人君子は民を以て國の基とせり、民と共に勞し民と共に樂む、興國の氣運は此間に勃然として起る、韓國に於ける我官憲は在住十數萬の民と共に其經營を進むるの誠意果してありや、若しありとすれば民聲の合圖に耳を傾る所なかる可らず、果して官憲に此雅量あらば地球と火星の接近よりも更に接近し渾然として官民一体となるべき也、斯くしてこゝに進歩あり光榮ある也。

東京電報

▲木越師團長の渡韓 新任第六師團長陸軍中將木越安綱氏は近日渡韓し西島中將より事務引繼を受けて同地に駐劄するも（四日午後着）

▲木越師團長の出發 新任駐韓第六師團長木越中將本日新橋出發渡韓の途に就く見送盛なり（四日發）

▲衛戍病院附軍醫 第四師團軍醫部員陸軍二等軍醫岡田桂林氏京城衛戍病院付に補せられたり（四日午後着）

▲小川軍醫の轉任 京城衛戍病院附二等軍醫小川勇廣島衛戍病院附に補す

雜報

●萬壽節と行幸啓

來る八日は万壽聖節に付韓皇並に皇后には御同列にて當日午前八時三十分敦化門出御龍朝橋、鐵橋、鐘路、黃土峴、新橋、布德門前を經て大漢門より德壽宮に行幸啓御問安あらせられ午後五時三十分還御の旨昨四日仰出されたりと

●曾禰統監の訓示

去る三十一日大臣會議に於て曾禰統監のなせる産業奬勵の訓旨内容を聽くに一國産業の發達は國民各自の奮起するにあり決して政府其他の補助に依賴すべきものにあらず然るに近時韓國の狀態を見るに純政治團の結合にも必ず實業の名を附せざるなく強て其心事を忖度すれば素りに名目を利用して其筋の補助若くは保護を仰ぐの意にして換言すれば若干の金錢を要求せんとするの意に外ならず斯の如きは畢竟不健全の發達にして寧ろ經濟上惡むべき者なりとせず各大臣は能く此心を體し誤なからんことを切望す

●森林濫伐防止に就て

韓内地に於ける重なる森林は目下夫々調査の上各々適當の方法を以て經營し良好なる成績を擧げんと努めつゝあるも蒙昧なる韓人は森林保護繁殖及び是れが利用等に關して聊かも介心する處なきのみならず俗に火田と稱し本邦に於ける所謂燒山の如く森林に徒らに火を放ち之れを拓伐し其の燒き跡には任意に農産物を播植し肥料を施さずして之を放棄し更らに他の地點に亦火を放ち同一轍を以て漸次森林を燒き拂ひ何等有益なる効果を收めず荏苒今日に至るもの夥しき現狀にして森林保護政策上多大の不利益不經濟なる現象を印するは實に遺憾の極にして本邦に於ける燒山とは全然其の根本を異にし繁殖且つ木材適宜の應用を誤り遂に廢地に歸せしむるものあるを以て之れが防止策として濫伐嚴禁し適當の地域を限り農産物の播殖に充てしむる方針を取るより外に途なく現に這般咸鏡南北道に於ける水害等に就ても山嶽崩壞の程度多大遂に慘憺たる光景を呈するに至りたるは一に天災とのみ謂ふべからざるものあるを以て此の際濫伐の弊を矯正せざれば牽て耕地に及ぼす危險の度も思ひ半ばに過ぐるものあり是に於てか其筋に於ては目下是れが防止策に就き研究中なれば近く森林保護政策上毫も遺漏なきを得べしと某當局者は語り居れりと

●水田と灌漑の利用法

韓國の米作が年々著しく豐凶の差異あるは灌漑の設備完からざるに依れるものにて韓國の諺に門前の美田と云へることあり此意味は灌漑の便宜ろしきを以て斯く云ふに至りしものゝ由にて全州原野の如き廣茫たる地所も水利の便なき爲めに日本人にて現に失敗を招き居れる者あり灌漑の設備は韓國目下の急務に屬することなれば度支部にては嚴に水利組合の規則を設けて之れが取締を嚴重にしたると同時に各農工銀行をして水利事業に投資せしむるの方針を取り曩には密陽に於て二萬圓、運山に於て三萬圓臨益に於て十二万圓五千圓の貸し出しを許可せし等今日までに表はれ來りし事實なるが今又群山の農事組合長なる田邊浩氏は全州河より引水して同下流の沿岸地域に灌漑の目的を以て水利事業を起す筈にて今回其筋へ出願したるに依り大田墨技師は之れが調査の爲め近日出張の筈なりと云ふ

●京城小學歷年生徒數

京城小學校生徒數は明治卅八年日淸戰役開校當時僅に七十三名なりしが逐年增加して四十一年末に於ては千八百九十八名の多數となりたる由今逐年增加の統計を得たれば左に報せん

卅八年末	七三
卅九年同	九六
三十年同	一〇三
卅一年同	一二二
卅二年同	一二四
卅三年同	一四七
卅四年同	一九三
三十五年末	二二六
三十六年同	二七二
三十七年同	三六七
三十八年同	五六九
三十九年同	八八五
四十年同	一、四一八

四十一年度に於ては生徒數の增加に伴ひ第二小學校を開設して同年末調査第一に男五百三十二女五百五人計千三十七人第二に男四百六十五女三百九十六計八百六十一合計千八百九十八名に達したる由

●營林支廠新設と事業

鴨綠江上流の木材は尙未だ豐富にして續々伐木に從事しつゝあるは既報の如く現に度支部新築に要したる木材は悉く鴨綠江材を用ひたるものなるが漢江上流四十里の地鱗蹄と稱する森林は其延長約百五六十里に亘り松樅及び雜木繁茂し是れを伐木すれば從つて鴨綠江材を輸送するの不經濟を免かるゝに由り山林局に於ては這般龍山に營林支廠を設け同地方に於ける伐木を開始する筈

●統監の訓示と韓銀株

韓銀株取扱ひに關し曾禰統監は當地各取扱銀行者に對し振替勘定をなすべからざる旨訓令したり爲めに居留民の同株申込人氣一頓挫したる傾ありと

●ハルバート氏の訪問

例のハルバートは一昨三日午前米國總領事館訪問、同國總領事代理と同伴統監府に石塚長官、小松外務部長代理其他を訪問せり

●度相留任に決す

統監の諭示に對し熟考すべしとて統監邸を辭したる任度支部大臣は豫て斯くあるべしと期待したる事とて同夜往訪の趙農相に對し止むなく留任すべき旨を答へたりと但し一時度相の辭意は堅き由を吹聽されたる爲め直に登廳するも世間の手前面白からざれば當分自邸にて政務を見機會を待つて登廳する筈（電通）

大和魂の流行
脫囚にあびせて看守息をつき

●漢城府登記事務

漢城府に於ける登記事務を聞くに隆熙元年度取扱件數六千七百五十二件、此手數料一万一千六百九十二圓二十錢同二年度に於て取扱件數七千五百七十五件、此手數料九千三百七十圓二十二錢同三年度一月一日より七月三十一日に至る取扱件數四千五百十三件此手數料五千三百〇七圓八十三錢なる由なるが以て全道登記事務の一班を知るに足らん

●親衛府長官招宴

李親衛府長官は一昨日大久保軍司令官、明石憲兵隊長、榊原憲兵隊長其他の文武官四十餘名を京城ホテルに招待し晩餐會を開けり席上李長官は軍部廢止に關し多大の盡力を感謝し大久保司令官之に答へ一同歡を盡して十時散會せり

●軍司令官巡行地

大久保大將の北韓巡視は愈々六日出發のことに決定したる由なるが同將軍の巡視せらるべき地方は會寧を終點とし其以北に進まざる筈にて世間は間島へ向ふべしと風評せるも清國に對する感情もあり旁以て會寧に止めたるなりと

●各大臣等の招宴

韓内閣各大臣は今五日正午榊原明石の新舊憲兵隊長を慰藉宮内慶會樓に招待し午餐會を開くべしと

▲東京の燒打ち五周年會 去る三十八年九月五日日比谷公園に國民大會を開き其結果例の燒打事件を惹起したる當時の關係者は本年は恰も其五周年に相當するより今五日午後五時より日比谷公園松本樓上に紀念會を開催し會場にて紀念繪葉書を配附し餘興として以極林伯鶴、伊藤痴遊等の寄附講談及び公園內に烟火を打上ぐる由なり尙同會にては『嗚呼九月五日』と題して當時の懷舊談を纂輯したる二百餘頁の冊子を頒つ計畫有と

●韓國財政根本問題

韓政府が司法權委任の結果日本政府より無利子借款金の費途に剩餘を生じ右は當然國餘の年度割額より控除せらるべきの處曾禰統監の新政策に基き更に治消費に充用せんと欲し荒井次官東上大藏省に向つて借款條件の變更を交涉中なりしが大藏省側より見れば該條件の變更は頗る重大にして帝國議會の協賛を經ざるべからず故に直に應諾を躊躇する處あり然るに韓國の財政は意外に紛糾錯雜し若し此交涉成立せず剩餘金返還を要する時は到底統監の新政策も空中樓閣を描くの類たれば荒井次官は極力同省の同意を求めつゝあるに依らば此際寧ろ進むで財政問題の根本解決を實行する方然らんとの論起り目下可否論に就き討究中なる由而して鈴木度支部次官代理は荒井次官より調査の電命に接したるもの〻如く昨今非常に多忙を極め秘密に計畫中也と（日本電通）

●再輸入品關稅に就て

韓國稅關にては外國產品再輸入に對する免稅の規定なき爲め當初外國より輸入せる物品を再び外國に輸出し後又之れを韓國に輸入する場合は其輸入の都度成規の稅金を賦課せざるを得ざるも右は苛酷の嫌ある場合少からざるに依り染直し又は修繕等の爲め輸出する物品にして各個人の自用品と認むべきものは輸入の際關稅を免除するの方針を採り居れりと依て右物品の所有者は輸出の際輸出の目的染直の仕樣修繕の箇所等を稅關に屆出で再輸入の手續等に就き指圖を受るに於ては免稅の便益を享受するを得べし

●京仁有志者の親睦會

京仁兩地の民長、商業會議所會頭、民會議員各銀行員會社員新聞社員等集合し京元鐵道問題仁川築港問題等に付て意見を交換し終つて親睦會を催す由にて京城よりの來會者は同日午後二時五分南大門を發し同三時四十九分仁川に着し同夜は同地に一泊し翌日は仁川有志の催しに係る海岸の網曳等ある筈にて目下夫々準備計畫中なりと

●外國煙草輸入高

關稅局の調査に係る本年一月より四月に至る外國烟草の輸入高は左の如し

國別	卷莨	刻莨
日本	二三五、〇六四圓	四六、三三二圓
支那	八一、二六四	一五五
英國	一四、〇三一	二七五
土耳古	二三、四二三	—
比利賓	四、四二〇	—
挨及	二、六二四	—
露國	二六七	二四三
北米	—	一五〇

尙別に一千五百四十九圓の葉卷の輸入あり

●應募株締切時期

韓銀株の前景氣は非常の盛況を以て迎へられつゝあるに依り來る六日の初日に於て滿株に達することは何人も想像し居れることとなるがさて其締切るべき時期は當日の正午に一應の報告を爲し夫れより午後三時の營業時間閉鎖の時を以て其應募の株數を調査報告し翌七日の營業時間開始迄には創立事務所より締切の通知を爲し來る順序に至るならんと云へり

●東亞莨の開業期

東亞煙草會社が大々的の規模にて滿韓に製造所を新設すべしとは既報の如くなるが其工場は京城及營口に設置し營口工場は京城よりも規模宏大に京城の製造所は一ヶ年二億萬本を製造する豫定にして刻莨、兩切り、口附等其種類約六十種あり來る十一月より開業の筈也

●木節の所在發見

木節は陶器改良に缺くべからざる良土なるが從來韓國に於ては該土の產出なきものとせられありしに過日工業傳習所の森技師滿州視察の歸途鎭南浦附近殷栗郡長連郡（共に大同江流域）の數個所にて該土のあるを發見したる由なり

●東烟の職工募集

別項の如く東亞煙草株式會社京城工場は十一月初旬より着手せしむべき豫定なるが其以前に職工養成の必要あるを以て十月中旬には募集を爲すべしと而して職工は總て韓人を採用する筈

●宇佐川總裁歸期

東上中の宇佐川東拓總裁は去一日參內御暇乞を言上し三日午後二時四十分新橋發列車歸社の途に就く

●東亞煙草支店長

東亞煙草會社當地支店は製造所を以て成立し製造所長及び支店長は加藤生郎氏にして販賣所長及副支店長は佐々木唯七氏に決定せりと云ふ

●韓景源氏の歸韓

例の杉山茂丸氏招聘の件に付宋秉畯に談合する用務を帶びて東上したる一進會員韓景源は三日夜歸來せり

●岡次官夫人歸東

韓國見物の爲め來京中なりし岡內部次官夫人は今五日午前九時南大門發の列車にて歸東の途に就く由なり

●澤田局長の歸任 內部地方局長澤田牛麿氏は昨四日朝歸任せり

●有元技師の入京 岡山縣農會技師有元幹次郎氏は去る三日入京山本旅館に投宿す

●島瀨中佐の出發 入京中の步兵中佐島瀨睦義氏は去る三日退京新義州へ向へりと

●河野檢事の入京 平壤區裁判所檢事河野曉氏は去る三日入京不知火旅館に投宿せ

●本日の說敎

▲日出町基督敎會 に於ける本日の說敎は午前十時より『須境の罪者』（米澤牧師）午後八時より『久遠の生命』（同牧師）なりと

▲旭町日本基督敎 にては午前八時半より日曜學校同十時より『赦罪に就て』（石原牧師）午後八時より『隱れたる寶』（同上）なり

▲高野山の施餓鬼 新町高野山出張所にては本日午後一時より特派使澤光範師の說敎及び施餓鬼法會を執行する筈なりと云ふ

近事片々

▲韓國 農作の豫想は平年に劣らず平作は受合なりと中村農務局長は樂觀すとは嬉し

▲各地 の情報によれば概して平作は覺束なしとの事なるが當局の觀察誤らずば幸甚

▲ロー マンカゾリックの感化は案外偉なる者あり然り其感化力は大に注目の價有

▲プロ テスタントの感化も亦偉なりと雖も其根底の堅き到底カゾリックには及ばず

▲宣敎 師の獻身的布敎は實に感ずべきものあり佛國宣敎師の行爲は鑑とするに足る

▲統監 政治は此點に關して深き注意を拂はざる可らず須く舊敎の地盤に着目せよや

▲若し 夫れ是を看過すれば他日統監政治に障りなきを保せず宜しく遠大の施設肝要

▲宗敎 の感化力を輕視する政治は失敗多し此感化力を善用するものは能く功を收む

▲密使 事件によりて名高きハルバート來る彼は財產整理の爲と稱す果して然るや否

▲併し 若し他に何等かの目的ありとも今やハルバート君等の謀略時代は既に過去る

▲彼は 漢城の西洋浪人として一時は重視せられたる時代もありき今や勢力更になし

▲相棒 ベッセル君逝き孤獨を感ずるならむ榮枯盛衰は人事の常謀反氣抔は最早ダメ

▲統監 秋冷と共に愈々快方白雲洞の模範植林視察をなせり御用紙報ず先く結構の事

▲本日 統監夫人新橋出發との事統監愈々快方にて嘸や安心せられむ先以て祝着の至

▲露紙 ノーアウレミヤは統監府の報告に就て日韓の政治的關係を評論しつゝ有と

▲不相 變乙な論評をなせる者の如し靑眼鏡を以て見れば總の者靑く見ゆ是非もなし

▲米國 鐵道王ハリマンの病狀を探らんが爲新聞通信員等同家の附近に露宿をなすと

▲ハ氏 自ら覺書を草して病の甚だしからざるを告げ其退却を求爲にウオール街安堵

▲自稱 天下の快男兒野依某も愈々箔が剝げ來る非似元氣非似豪傑は到底長持し難し

▲野依 の如き誇大狂は社會を毒する甚だし彼の實業世界抔は淫猥小說よりも害あり

東京電報

●地戶稅徵收狀況 隆熙三年七月末……圓の增加にして此原因は昨年度は暴徒の出

●水害地救恤調査 全南水害地に對

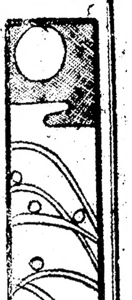
……したる旨伏奏せり（四日午後）

……圓なるが之れを昨年の同季に比すれば地税五十八萬七百二十八圓戸税一萬三千七百十……

●木下技師の出發　統監府技師木下重松氏は浦尾旅館滯在中の處三日仁川へ向へり

……具体的に之れが救恤を行ふ筈なりと云ふ

●配達出拂　午後七時



●女房其夫を刺す

▲夫は新町第一樓雇人

東京府平民當時京城新町第一樓支店雇人藤田源之助（三〇）と云へるは昨四十一年十二月頃より佐足かね（三五）なるものと内縁を結び同棲し居りしか本年四月初旬合意の上離別したるにかねは其後時々源之助の雇はれ先の店前に來り或は道にて逢ふ毎に大聲を放ちて惡口を吐き或は惡戯をなすにぞ源之助は頗る迷惑に感じ或時は派出所へ說諭方さへ願ひ出たる事あるも尚ほ改悛の模樣なく一昨夜も第一樓前に來り罵倒の限りを盡すより源之助は之を捕へ制止せんとせしに大和町方面へ逃走したるを以て之を追跡し同所料理店梅の家の前にて追及したるにかねは振り返り樣匿し持たる洋小刀を取り出し源之助の左頸部に長さ一分五厘深さ一分の刺傷を負はせしかば直ちに其の腕を押へ兇器を奪はんとせしも力及ばず取り逃したる旨訴へ出でしかば係官出張詳細取調べたるに本人は既に離別せし樣申し立てたるも夫れは表面のみにて其の實尚は關係なし居りて痴情の結果茲に至りし者と判明不都合者と叱られて引下る

●泥棒して妾を蓄ふ

▲妾宅は曙町の喫茶店

京都市上京區東丸田町二丁目二十三番戸平民尾崎市次郎（四八）は昨年十一月より本年四月頃迄京城御成町呉服商篠崎竹二郎方に雇はれ中同家の掛先金數百圓を受け取り費消なして姿を晦ましたるより南部署の□野刑事が其の所在搜索中の處市次郎は曙町三十七番戸へ妾谷川つやに茶館と稱し料理屋樣のものを營ませ居り同家に潜伏せる事を探知し去る三日午後一時頃同家に踏み込み取押へ同署へ引致の上取調べしに本年二月頃より四月頃迄の間に倭城臺官舍植野某を始め其の外三十八戸に對し呉綾會の掛金百八十二圓五十錢及主家の米澤反物外十二點價格百八十圓の品を持ち出し内一筋は自分に使用し上等反物九反□八月四日頃明治町一丁目高橋質店へ七十圓に入質殘り二反内一反は妾方の下女へ二圓二十錢に賣り一反は同人へ中元の使ひ物として遣りたる旨自白したり

●金の替りに妻を渡す

▲遂が朝鮮式に出來たり

江原道鐵原郡漁村住居客主家を營業とせる柳一甫（四九）は八月三十日當時西部署へ出頭し其妻裵姓女（三〇）を金の代りに西部青坡舟橋居住馬夫李昌淑（三四）の爲めに連れ去られ取り戻しに参りましても返して呉れませぬ故御取返しを願ひ度しと申出でしを以て李及び裵を召喚の上取調べたるに前記裵姓女は柳に嫁して既に十余年當年二歳の子供迄ある仲ながら何故か豫てより夫を嫌ひ居りしが本年四月頃子供を連れたるまゝ家出して姿を匿したるにぞ柳は大に驚き血眼となつて所々方々と搜査せしも知れざるに途方に暮れ居りしが以前より時々自家に來り止宿する前記李昌淑が連れ出し京城へ同行せしには非ざるやと出京して李方を尋ねしに李の言ふには然らば自分同樣時々柳方へ至る京畿道幸州郡陵□に住む馬夫李某方に行き居らざるやと種々相談の上柳及び李の女房の姿見ゝざるに實は之々と事情を述べ並びに李の父と他に女を捜すには內房に入らざるべからず左すれば韓國の法として男

いはく集

▲石塚英藏君曰く　御用新聞で一番困つて居るのは統監府だよ、君何とか仕樣は無いかね。

▲●●●●●●れやねさん曰く　御前のた側で無いとせいせいと眠れます。

▲菊地博士曰く　迂濶な新聞記者にや統監の病源は知れても大韓醫院の裏面は知れまい。

▲三浦理事官曰く　論達を書くには實際汗が出たよ……イーヤ冷汗が出たよ。

▲特派通信員曰く　統監の暴威も吾達には加へられまへドーダドーダドーダ。

子は內に入る能はざればとて女一人を都合四人にて幸州郡に至り李某方に就き探り見るに果せるかな裵姓女は同家に居るより否應を云はせず引立て青坡なる李の內迄連れ歸りしが柳は妻さへ居れば別に用はなしと妻を促しいざ歸らんとするにぞ李は大に怒り夫れは都合も好からんか今度幸州に行きしに付き要したる費用十餘圓は全部自分にて支出し居れば之を仕拂ひ歸るべしと云はれたるも持ち合せなければ一先づ居村に歸り都合し來る可ければ其迄妻を預り呉れよと依賴し居村へ立ち歸りたり然るに妻及び李は柳の金策して來るを待ちつゝある內に何時しか情を通せしが神ならぬ柳は斯る事とは夢知らず已が居村に歸ると一生懸命金策に力を盡したるも其の甲斐なく一文だに出來ざるに詮方盡きて又當地へ取つて返し李に金策附かざれば妻は君に讓るべければ追金として八圓を出すべしとの事に李も承知して該金を渡し保證人を立てしめて一札を取りて一段落を告げしが柳は居村に歸りしも女房の事を忘られず何事も手に附かすわりしが遂に堪へ兼ねてにや先月始め又も出京し妻を取り戻さんには金はなしと茲に虛僞の訴へをなしたるものと知れ後來を戒められて引下る

●税關役人の鼻毛

仁川敷島の地獄

門を潜ぐると直ぐに右手が日進樓此家の一番增と言へば三勝拍子とて三十路の坂を越へた姥櫻なれど昔し執つた杵柄は何處やらに捨て難き風情あり、かてゝ加へて海千山千の利物なるがゆへ相當の流行妓として粹客連に囃やされし事もあれど今日此頃の敷島の寂れ方では如何に踏ん張つても袷の質受けが覺束ないので一計を案出し毎夜隣りの玉突屋へ來る税關のた役人平田（三五）となん云へる妻子さへある人の一寸小粹の姿に岡惚れし戀と慾との兩道を辿らんと朋輩のオッチヨコチヨイで有名な十郎拍子に橋渡しを賴みしに案外相談が早く纏まり平田は三回迄續けて登樓し其後は毎夜玉突屋で互に顏合せて嬉んで居たが此の平田先生却々のツミッタレで容易に金にもならうな風も無く又見掛けに似合はぬイケ好かない男なるより三勝の方では此頃の氣候と同じく早くも秋風を吹かし爾來玉突屋へも顏を出さぬにぞ平田先生氣が氣でなく君しや患ひばし玉はぬかと見舞品さへ携へて繁々登樓を爲し居れりとか是れなら三勝さんの捻りもどうやら戻りそうなりと

●下女の詐欺取財

龍山元町三丁目

岡村淸五郎方雇人鈴木トクなるものは一昨二日元町三丁目五十一番戸高橋サク方にて下女を探し居る由を聞き知り同家に至り住込の契約をなしたる上前借として十二圓を詐取りたるまゝ逃走したるが夫れと知らぬ岡村は高橋方にて下女を横取りしたるものと疑ひ又高橋は岡村がトクと共謀して金員を詐取したるものならんと双方思ひ違へて言ひ募りたる結果龍山署に持ち込みたるより双方取調べの上思ひ違ひと判明したるより鈴木とくの行衛を搜索すべき旨說諭さる

●兵士に喰て掛る

龍山大林町二十七番戸大林組雇人前川庄太郎（三十）は一昨三日午後九時三十分頃美洞居住酒店崔明善方にて飲酒し同家を立出でたるに韓國近衛隊四中隊三班一等卒金順柱（三十）同上等兵方華仲（三十）等の散步せるに出會い馴々敷言葉を掛けしに韓兵等も之に應じて二言三言言葉を交せしが互に言語の通せざるより毆り合を始めし處に巡回中の巡査が來合せ別に傷を負ひし模樣なければ双方へ說諭を加へて立ち去らしめたり

●京城の防疫事務

中部長橋通り金相協方同居金貞愛（三〇）は過般北韓より歸來し二日死去したるに依り死体檢查の結果眞正虎列拉なること判明したるに依り直ちに同居者の八名に對し消毒を加へたるが何鴨綠江畔に於る虎病益々猖獗を極めつゝあるを以て警視廳に於ては同地方面より入京する旅客に對し防疫を行ふ筈なりと云ふ

●小兒車に轢かる

曙町六十三番戸

古物商澤虎吉次男虎之助（五つ）は父と共に明治町二丁目百十七番戸に至り同所前道路にて遊戲中龍山より永樂町一丁目建築工場へ砂利を牛車に積み來る青坡二百十二統六戸金泰閏（九十）の車輪に轢れ外傷はなきも佐々木醫師の診斷に依れば挫折せる趣にて大韓病院に入院此の旨其の筋へ屆出でたりと

●新町女郎の入院

新町遊廓にては一昨日定期健康診斷を行ひたる結果入院を要するものは京城樓の笑子第一樓本店の九重滑月樓の住の江大桝屋の小蝶月下樓の小三高嶋屋の千代子南山樓の衣笠休業通院を要するものは櫻榮樓の紫竹高島屋の高砂山遊樓の房子初遊なりと

●泥醉者の大亂暴

福岡縣京都郡行橋村千百七十五番地平民當時龍山榮町五番戸松尾武平方同居關長六（三〇）は三日夜酩酊の余り漢江通三丁目高野直二郎方同居人加藤虎一（三八）が街路通行中なるを面が氣に喰はぬとて突然毆打したるため同人の爲め告訴せられ本署に引致せられて大目玉を頂戴

●料理人の醉ひ倒れ

本町八丁目三十五番戸野田七五郎方居住料理人龍目間吉（五三）は昨日午後二時旭町二丁目十八銀行舍宅滑水方の門前に醉臥せるを巡査に認められ南部署へ同行將來を戒めて下らしめたりと

●手提金庫を盜る

龍山榮町福留平次郎方にて昨三日午後八時頃家人が店頭にて來客と對談中の隙を窺い同家裏手板塀を乘り越へ竊盜忍び入り三十圓餘入りの手提金庫外數點を窃取し逃走したりとは物騷

●落し主はダーレ

南山町三丁目附近に於て一圓札四枚五十八と彫刻せる認印一個木村宇一郎と彫刻せる印鑑サック入一個を拾得南部署へ屆け出でたるものあり

演藝

▲歌舞伎座　●●●日增しに好人氣なる彰義隊愛澤一座今日及び明日の替り藝題並に配役左の如し

五日藝題『稻德利』全七場

藝妓小花（西井）車夫房次郎（桂木）醫學生本田器（河野）車夫鼠寅（角村）幇間三八、仲居れきく（中村）銀行頭取田每新（松村）床屋職人梅造（小谷）幇間八八、茶屋新兵衛（北村）藝妓溜花（三島）婆たしま、車夫熊吉（美崎）信濃屋長造（篠崎）緒方保夫（愛澤）床辰、緒方保武（高島）

六日『北門警備兄弟兵士』全八場

娘雪子（西井）人夫頭定五郎（桂木）山岸武夫（河野）佐藤大佐（角村）白石軍醫（中村）山岸左門（松村）幇間三八（小谷）支那人金慶（北村）兵士木村（木下）佐久間曹長（美崎）陸軍大尉淺岡（篠崎）陸軍中尉加藤（愛澤）吉野善兵衛（忍）山岸義夫（高島）

吉凶鏡

本町五丁目　三二館判斷

九月五日　舊七月廿一日　二黑先負戊辰なる

△一白　困窮の日殊に方針を採り誤るなかれ遣失盜難足元の負傷防ぐべし△二黑　厄運日創始改易旅行轉住凶他人の世話事あり△三碧　兄弟親戚間爭端起らん旅行凶盜難防ぐべし△四綠　群小紛々の言を聞きて動かされ易し理非を正ふして處すべし△五黃　保證世話事を堅く戒しむ他人の助力后援を求むるには適す△六白　成効の日なり總して日常の事差支なし緣組、婚姻、雇入等は凶△七赤　利達の日なり依賴對談等整ふ若き徒は色情を戒しむ嫁娶の事談は吉△八白　從者家族より災害を受くるなかれ創設開始改易の事吉△九紫　不圖邂逅若くは離間を復するあらん脚より下の病傷畏るべし

九月六日　舊七月廿二日　一白佛滅己巳さん

△一白　誹謗讒誣を防ぐべし旅行轉住大々凶△二黑　我意、强情を張りて過ちあり印章證券帳簿の事留意怠るなかれ△三碧　紛糾事は解決に吉又內外に於ける積弊を廓淸するに吉△四綠　遠方交通遠方取組能く所望に適ふ散財離間注意すべし酒害女色を戒しむ△五黃　爭論衝突あらん中傷誣妄防ぐべし△六白　陰陽の日萬づ謹愼を要す保健に攝生に留意すべし△七赤　近親の身上に付き配慮の事あり寬會を催すは見合すべし△八白　逡巡して機を懲るなかれ又要件を遲延するなかれ身心の鈍動を戒しむ△九紫　從者配下の過誤より責を負ふ事あらん總じて凶但し學事慈善療病の事妨げなし

右は槪括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

●天氣豫報（自四日午後六時至五日午後六時）

北西の風曇

三日（華氏）　最高溫度　七七、九　最低溫度　六〇、四

廣告

法政新聞

日文二號　九月五日發行（日文每月五日發行　韓文每月廿五日發行）

本誌は時代の要求により生れたるものにして韓國（順次滿洲に擴張すべし）の司法、行政に必要なる諸問題に解決を與へ偏に實益を基礎とする韓國唯一の法政新聞にして裁判所、警察署、監獄署、憲兵隊、其他諸官公衙に職を奉し辯護士其他法律に關係ある業務に從事する士は一日も座右を放すべからざる斯界の機關紙なり（京城太平町大漢門前法政新聞社電話取次一〇六一定價廿五錢地方は郵稅を要す）

▲三色刷「大審院開廳以來事件數各月比較表」「各道暴徒勸靜一斑圖」▲口繪寫眞版「內部地方局長」「警視副監」「法部民刑兩局長」「李朝五百年來百万人の斬首刀」「勅令に代る馬牌」「紅王絲」「棒子」「鐵片」「縛鎖」「大規模なる白銅貨僞造器具」「日本人退散新稿鬪書及器具」「暴徒使用の兇器」「笞刑其他」「笞刑執行實況」

▲韓國の司法權受設備に就て　法務院許定官　淺見法學士
▲司法權實施後に於ける司法警察費　大審院長　渡邊暢
▲刑法と他の法律及他の科學との關係（承前）　內部土木局長　劉猛
▲冠婚葬祭の四禮に就て　大審院檢事總長　國分三亥
▲司法權受託と大赦特赦　內部書記官　平渡法學士
▲韓國司法行政の將來に就て　統監府囑托　菱田ドクトル
▲韓國人任用と日本憲法　內部警務局
▲韓國の戶籍に就て（承前）　內部警務局
▲民籍法註解（承前）　天民生
▲韓國の三大臣（承前）▲司法廳長官たらんとする倉富博士▲松井局長　法典調查局事務官　小田幹次郎
▲慣習調查（牌旨に就て）　如水生
▲催眠術の研究
▲大審院判決例民刑十件▲判例批判（東拓總會決議無効宣言請求事件）（約束手形金請求事件）▲松井警務局長演說▲訟事悅嘆▲韓人訴訟觀▲牧梅鎖談▲東拓商法違反判決▲不動產騙取罪の成立▲駐韓日本憲兵隊沿革▲東拓總會無効宣言請求事件の上訴其他數十件
▲讀者論壇（日韓新協約第一條の違憲にあらざるを論ず）　法典調查局　下森事務官補

今回更に農商工部大臣趙重應君を總顧問に推戴し故總理大臣申箕善君の遺子正三品申厚永君を社長とせる本誌の如何に刷新改善されたるかを見よ

品質精良且廉價にして御進物に最適
金口莨及葉卷各種（百本入七十五錢以上）大安賣卸
小賣速に御來店御試み給へ見本無代
直輸入商　本町二丁目　日希商會

購買公告

平壤水道工事用　一粗石壹萬個

右購買ス入札希望ノ者ハ本日ノ官報又ハ本局及平壤水道事務所ノ揭示ヲ見ルベシ

隆熙三年九月四日　內部土木局

島村醫學博士有効證明

神經腦病頭痛全治最良藥　健腦丸　恐るべき腦充血を根治す

本舗　丹平商會

齒科診療時間　自午前八時至午後六時

南山町三丁目（巴城館上隣）　飯塚齒科醫院

醫員及實地に熟達せる助手入用

自轉車大安賣

角商會代理店　前川自轉車店　京城南大門橫

手選特等白米現金値段

五斗入一叺　七圓七十五錢（目廿貫方餘）

同一升に付　十六錢

御買は特に御相談申上候

京城本町一丁目（電話六三二番）　今村商店

平壤要覽　全一册　定價廿錢

平壤の事情に精通せんとせば本書を讀め本書の表紙はクロースにして美麗を極め名所舊蹟はコロタイプ版にして鮮明なり其記事は確實にして重要事項を網羅せり

發賣元　平壤大和町　白川活版所　電話三四四番

消毒防臭劑　クレシン

京城本町二丁目　四ケ所洋物店　電話三一一番

第一回營業報告

貸借對照表

資產之部

未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇
興業費	九二、二五八、〇六五
貯藏品勘定	一二、〇〇八、五五九
興業費未決算勘定	二一一、五二二、七九二
假拂金	七三、五四一、六八〇
有價證券	四、九二四、〇〇〇
銀行預金	四九五、八三八、〇七〇
海外註文品代內渡金	一五七、五七二、九〇〇
韓美電氣會社買收代金	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
現金	三一〇、九三〇
合計	四、四九七、九七六、九九六

負債之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
契約保證金	八、五一六、四六〇
身元保證金	二六一、三三〇
未拂金	一五六、四一三、一二〇
仕拂手形	六二一、三八三、二八〇
借入金	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	五、三七七、八一〇
當期利益金	六、〇二五、〇〇六
合計	四、四九七、九七六、九九六

損益計算

收入	一七、〇八二、一二五
支出	一一、〇五七、一一九
差引利益金	六、〇二五、〇〇六
前期繰越金	五、三七七、八一〇
合計	一一、四〇二、八一六
後期繰越金	一一、四〇二、八一六

右之通ニ候也

明治四十二年八月

日韓瓦斯電氣株式會社

專務取締役　岡崎遠光
取締役　高松豐吉
同　久米良作
同　大橋新太郎
同　山口太兵衛
同　白寅基

右調查候處相違無之候也

監查役　伊藤幹一
同　平澤道次
同　金時鉉

取締役澁澤榮一辭任ニ付補缺選擧ヲ行ヒシ處白石直治當選シ監查役任期滿了ニ付改撰ノ結果前任者何レモ再撰セラレタリ

名種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髪、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●傭仲働 二十六の女龍山方面の清淨なる家庭の仲働又はた針女に雇はれたし但給料八九圓を望む 氏名在社(四二五)

●被雇度 普通教育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙 氏名在社(四二六)

●求人 外勤事務員採用午後四時より來談あれ 京城相生町一六南門館 波多野

●求職 年廿五内地商業學校教員奉職中の者清語及商科一般の智識あり會社商店若くば官廳に雇はれたし 氏名在社(四二七)

●下女入用 廿歳前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ 龍山停車場前大陽館

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三二)

物件部

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤

○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社(四三四)

廣告

統監府御用
宮內府御用
軸物、表裝、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式
表具 建具 商 京城譯町(電話二一八七番) 石川辰次郎

解雇廣告
元助手 江島岩身
右之者今般不都合の所爲有之候に付解雇致候間自今當院に一切關係無之此段廣告候也
九月一日 南大門外 梅毒麻病專門 戸田病院

解雇廣告
牧夫兼集金係 池田與八
右者今般解雇致候に付自今當場に一切關係無之候
右廣告仕候也
八月廿六日 荒井牧場

資本金十圓にて一日壹圓以上の利益ある職業あり希望の方は御來談あれ
京城黄金町三番戸 國松商會

折箱製造元
京城明治町一丁目 五十番戸 漢城病院下横へ入ル
箱信事 鳥山商店

名譽銀牌受領 キリンビール

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町一丁目(長谷川町筋) 三輪商會 電話三八六番

醬油早造法分權
日本帝國政府 韓國統監府 特許

本邦人の在韓するもの日に增加するに伴ひ製造業の必要を促すもの先づ醬油釀造業たること何人も首肯する所實に醬油は人生の日用物今や在留人の年間需用は三萬石を要求し韓人又嗜好の傾向ある本品にして今尚は多くの供給は本邦より輸入し運搬其他の費金は悉く加算せられて醬油賣價の不廉なる皆人の知る所なり

抑醬油は大豆小麥鹽を原料とし醱酵せしめ其主成分を溶化せしめ搾取するものなり其原料は韓國内に富みて本邦の價格に比すれば常に低廉なるをや加之醬油の安物は嗜味劣くして定規の鹽量を加ふる能はず爲めに其氣は忽ち「かび」を生じて變味するを常とす然るに多數の漁業者勞働者及韓人にありては比較的安物需用の多き狀態なれば成るべく搾取の新鮮を要するにも拘らず其需用地に於て釀造業開始の續出を見ざるは頗る恨事とする所なり

以上は要するに現今行はれつゝある釀造法か數百年來の舊式にして熟成期の遲鈍なる結果地所建家仕込器具の擴大なる設備を要するに起因するならんか

余が發明する所の釀造法は日本帝國政府及韓國統監府の特許にして主こして熟成期を短縮(殆んご十分一)して一層佳良の醬油を製出し然かも莫大の設備を要せず作業簡易にして且つ安全なる事は余が數年の實驗と內地に於て分權せし百數ケ所の釀造家の事蹟に徵して明確なる所なり今回韓國內土地に制限を設け區域分權を成さしめ併して其釀造法を傳授すべし分權企望の方は下名へ御申込可被下候也

○釀造模範所に自宅釀造所にあり分權企望の方は豫約金五圓を添へ御申込あれば縱覽に供す
○分權規定書及說明書は郵券三錢醬油見本は郵券三十錢添へ申込あれば郵送す

山口縣防府町三田尻 柏木幸助

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町一丁目 桂萬吉

謹告

殘暑の候各位益々御清祥奉南山賀候弊店儀豫而店舖改築中の處今般落成仕候に付九月一日より從前の通り開店營業仕り從來の御愛顧に酬ん爲め一層業務擴張益々確實なる正札を以て精々安價に且つ丁寧と精實に奮勵仕候間倍舊の御引立を給はり御尊來被成下度謹而奉願上候也

君ケ代足袋發賣元
京城本町四丁目 山口呉服店 電話九番

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
東京火災 海上 運送 保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

織居商店の大發展
自轉車部移轉開設廣告
從來本町四丁目本店内にて時計及寫眞機こ共に營業致居候處店舖狹隘の爲め今般自轉車部を本町二丁目に移し益業務に勉强仕候間倍舊御引立願上候

新荷着
英國製 コンマンダー號 ケンネツト號 スヰィトホーム號 サクセス號
米國製 クリーブラント號 ウヱスト號 ギレク號 セ子ラル號
修繕は特に迅速丁寧に可仕候
京城本町二丁目 織居自轉車部

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版 各種印刷 帳簿製釘、書籍 製本及ビ印刷 諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麴町區麴町六丁目十九番地 電話番町二九〇番

代理店
新井藥房本店 京城南大門通三丁目(九百四十八番)
新井藥房第一分店 京城本町三丁目(電話四七八番)
新井藥房第二分店 京城南大門外

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目 大上商店 (電話二一五一番)
和洋酒、回精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 品代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五二一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話五二六番 草梁驛前 電話六三七番
龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

內外科 產科 小兒科 花柳病
京城旭町一丁目 三二六番戸 安東病院 電話七十三番
入院隨意

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店 電話十番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 九月二十六日午後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 九月十四日午前四時出帆 酒田丸 九月三十日正午時出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 九月八日午後出帆
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

待合 春日

待合 貸席 月の家
本町五丁目三八 電話一〇七四

焦心單志多年爲斯道難於微奥旨恍然似有得者匪躁推臆斷曖昧茫洋鮮愈迷誤聽衆而輕蔑也
易斷觀 京城本町五丁目 相數授 三一館 館主 土御門派大陰陽師

●新聞料 一枚金二錢 一ケ月前金卅五錢 三ケ月前金壹圓 六ケ月前金貳圓
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 振久一郎
發行所 京城新報社 電話六六三番